

FEBRUARY

18



主催事業 マンスリー ファミリーネイチャーゲームのご報告

参加家族：2組（6名）、職員1名、岡山県シェアリングネイチャー協会 深見さん（ごろうさん）



【活動報告】

ポツリポツリと雨が降ったり止んだりの中、2月のネイチャーゲームがスタートしました。今回は2家族6名のご参加。そして、自然と人を仲良しにさせてくれる自然ナビゲーターの指導員は、ごろうさんです。

まずは、いろりの家で心地良いストーブの火の暖かさに包まれ『もりのえほん』というタイトルの絵本の中に隠れている動物探しをします。一見木々だけの森の絵に見えますが、じーっと見てみると、その中に動物がかくれんぼしています。「あ！これじゃない？」うーん…と、みんなで目を凝らして集中すると「あ！クマがいる！」「クマだ。あれ2匹？」「2匹だ！」と発見の驚きと喜びで、みんな大興奮です。



ミミズク



宇宙人



その後、外へ出て桜の広場にあるたくさんの木々を眺めると...なんと！「あれ？あの木のあそこの幹や枝、馬みたい」「ワニがあそこに！」不思議なことに動物がたくさん隠れているように見えてきます。画用紙に、自分が見つけた“かくれんぼ”しているものをスケッチして、それがどこにいたのか、みんなに伝えます。自分の目では見えなかったものまでたくさんいて（なんと宇宙人まで！）みんなでビックリでした。

『指先、ドキドキ、探検』は、ごろうさんが持っている袋の中に、一人ずつ手を入れて触り、同じものをフィールドに探しに行きます。子どもたちは感覚が豊かで、「あ！これ、わかった！」とすぐに見つけていました。すごいですね。

最後は『木のこすり絵』です。木の幹に画用紙を当て、クレヨンで擦って木肌を映し出します。木の肌にも、それぞれ個性があることを皆で実感できたひとときでした。

帰る前のおやつ時間。所内にある金柑を使って作ったジャムをクラッカーにつけて、のんびりほっこりいただきました。

次回は3月18日（土）です。自然にふれ、自然とあそぶ楽しい時間をご期待ください！

